



誰も置き去りにしない社会を

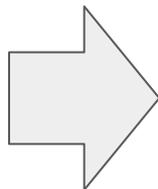
上田染谷丘高等学校 1年 中沢心優

No.16 平和と公正をすべての人に

: テーマ設定の理由

- ①最近、子供に対しての暴力や殺害、虐待などの報道が多く目にするようになって、身近なことのように感じたから。
- ②世界で見ると子供に限らず大人も被害に遭われていたり、戦争が続いているのが現状だから。

16 平和と公正を
すべての人に



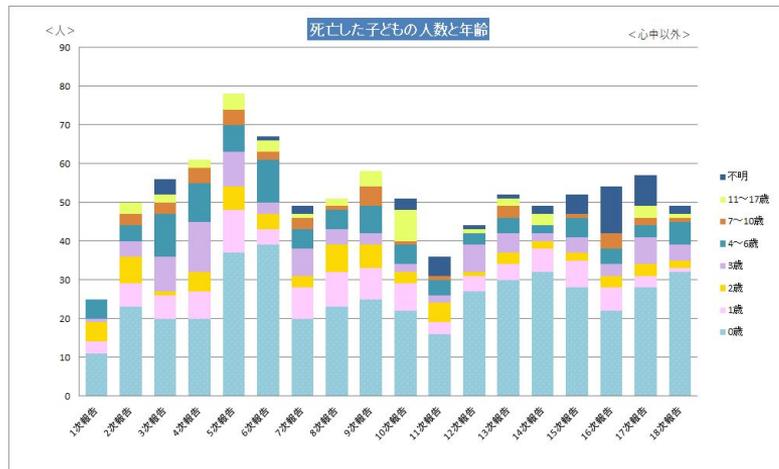
**持続可能な開発のための
平和的で誰も置き去りにしない社会
を促進し、すべての人が
法や制度で守られる社会を
構築にする。**

現状と課題¹

日本

すべての情報が
わからないのが
事実

・子供への暴力、搾取 ・DV ・男女不平等など



たとえば...

児童虐待防止に取り組む「オレンジリボン」という組織の統計データから
"日本国内"で週に一人の子供が虐待死していることがわかっている。
グラフから最も多いのは**0歳の生まれて間もない乳児**だとわかる。

出典:<https://www.orangeribbon.jp/about/child/data.php>

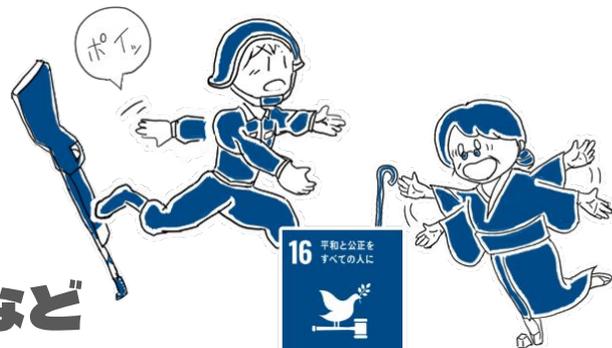
現状と課題²

：世界

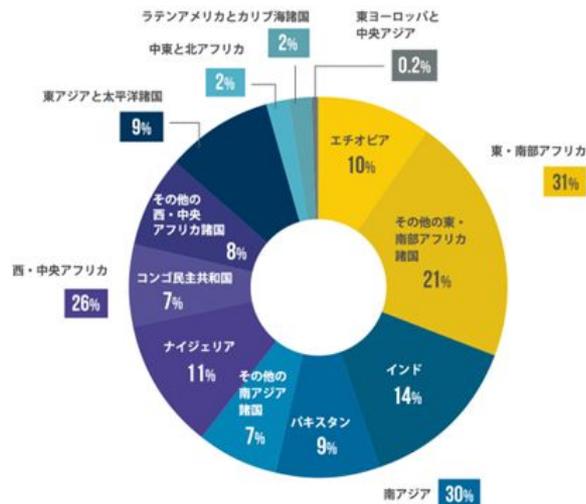
・難民 ・紛争、災害

被害件数は明らかにされている
ことよりも多い

・法的な身分証明がないなど



OGAMOB



たとえば...

世界には**"存在が証明されていない子供"**が多く存在する。

「ユニセフ」は2019年に世界の**1億6600万人**もの5歳未満の子供が出生登録されていないことを明らかにしました。

グラフから**アフリカ**や**低所得のアジア**の地域を中心に起こっていることがわかる。

出典：<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/16-peace/>

解決策のターゲット

引用:<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/16-peace/>

*ユニセフがNo.16の目標達成実現のための方法を示したものです

16-a

特に開発途上国において、**暴力を防ぎ、テロや犯罪をなくす**ために、あらゆるレベルでの対応力を高められるよう、国際的な協力などを通じて、**各国でこの問題に取り組む機関の力を強めていく。**

16-b

持続可能な開発のために、**差別のない法律や政策をすすめる、実施する。**



私たちにできること

貧困・緊急事態下で苦しんでいる国、人のために

- ・募金
- ・ボランティア活動
- ・物資、資源の寄付
- ・寄付になる買い物

誰もが納得できるような法律をつくるために

- ・政治に興味関心をもつ
- ・とくに若者が政治(投票)に参加する

多くの命を救うために

- ・献血に協力
- ・支援団体への寄付

: 取り組みの事例

- ・セーブ・ザ・チルドレンインターナショナル
- ・JANIC
- ・株式会社kaien など



感想・まとめ



・世界中の人達でSDGsの目標を2030年までに達成するためには、まず興味関心を持ち、世界で何が起こって、何が問題となっているのかを知る事が大事だと思いました。

そして、知った上で行動に繋げていけるようにしたいです。

・自分たちが身近にできることから積極的に取り組んでいきたいです。

・私自身SDGsのことについて今まで学んできていなくて、あまり知らなかったのが今回を機にSDGsのことについて知れて良かったと思います。

・今よりももっと先進国が発展途上国と連携できるような世界になって欲しいと思いました。

